

札幌市下水道事業中期経営プラン 2015 の概要

【計画期間】平成 23 年度（2011 年）～ 平成 27 年度（2015 年）

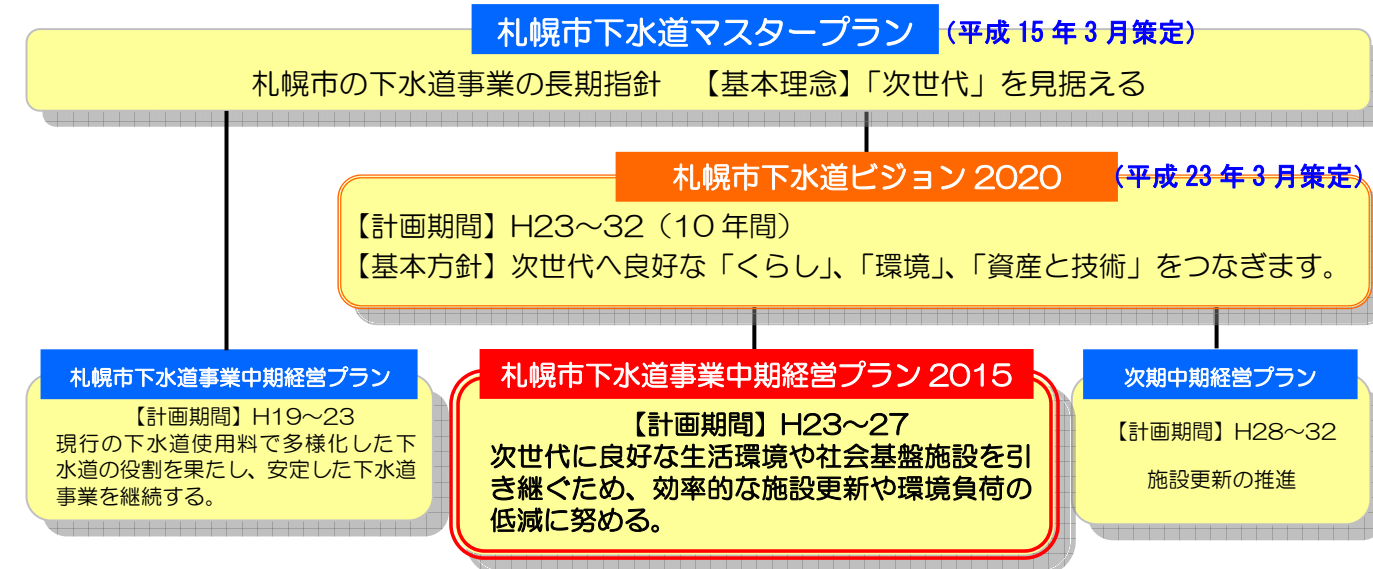
作成	建設局下水道河川部	資料
提出	平成 24 年 3 月 5 日	3-2

第 1 章 総論 (本編 P1~P3)

【策定の目的】

施設の老朽化の進行や景気の低迷に伴う使用料収入の伸び悩み等、下水道事業を取り巻く環境が変化中、将来を見据えながら、今後 5 年間の下水道事業を計画的・安定的に実施するため、『札幌市下水道事業中期経営プラン 2015』を策定する。

【位置づけ】



【5 年間の取組方針】

- 老朽化が進行する施設の状況把握に努め、ライフサイクルの最小化を目指した修繕・改築を行います。
- 省エネルギーの推進や新エネルギーの導入に努める等、積極的に環境負荷の低減に努めます。
- 限られた財源・人材で安定的な事業運営を行うため、事業の選択・集中や効率的な執行体制の構築に努めます。
- 市民の信頼に応え、ニーズに合った効果的な事業運営を行うため、広報・広聴活動の充実に努めます。

【計画目標と体系】

札幌市下水道ビジョン 2020 で掲げた基本目標・施策目標に基づき、具体的な取組を進める。

<プランの体系>

- ・ 事業計画
- ・ 財政計画
- ・ 運営の視点

	基本目標	施策目標	施策
事業計画	安全で安心な市民生活の確保	下水道機能の維持 災害に強い下水道の実現	下水道機能の維持 下水道施設の改築・再構築 雨水対策 地震対策
	環境に与える負荷の低減	清らかな水環境の保全と創出 低炭素・循環型都市の実現	合流式下水道の改善 処理の高度化の推進 地球温暖化対策 下水道資源の有効利用
財政計画	健全で持続可能な経営	経営基盤の強化	財務体質の強化 人材の育成
運営の視点	【市民参画の推進】 情報共有と市民参画		

第 2 章 事業計画 (本編 P4~P15)

【基本目標 1】 安全で安心な市民生活を維持します

【施策目標 1-1】 下水道機能の維持

- ◆ 下水道施設の維持管理 (計画事業費 667 億円)
 - 管路施設の維持管理
 - 処理施設の維持管理
- ◆ 下水道施設の改築・再構築 (計画事業費 341 億円)
 - 老朽管路・軟弱地盤地域における管路の改築
 - ポンプ場・水再生プラザの改築
 - 汚泥処理の集中化 (再構築)

【施策目標 1-2】 災害に強い下水道の実現

- ◆ 雨水対策 (計画事業費 87 億円)
 - 雨水ポンプ場・雨水拡充管などの整備
 - 雨水拡充管や雨水貯留管の整備
 - 協働による雨水流出抑制の推進
- ◆ 地震対策 (計画事業費 54 億円)
 - 管路及び水再生プラザ (管理棟など) の耐震化
 - バックアップシステムの構築

【基本目標 2】 環境に与える負荷の低減に努めます

【施策目標 2-1】 清らかな水環境の保全と創出

- ◆ 合流式下水道の改善 (計画事業費 55 億円)
 - 河川への汚濁負荷量の削減
 - きょう雑物の流出抑制
- ◆ 処理の高度化の推進 (計画事業費 4 億円)
 - 処理の高度化による水質保全
 - 新たな高度処理施設整備の検討

【施策目標 2-2】 低炭素・循環型都市の実現

- ◆ 地球温暖化対策 (計画事業費 2 億円)
 - 改築・更新にあわせた省エネ化の推進
 - 新エネルギー・エネルギー高度利用の推進
 - 下水処理プロセスの低炭素化の推進
- ◆ 下水道資源の有効利用 (計画事業費 1 億円)
 - 下水汚泥等の有効利用
 - 汚泥の有効利用メニューの多角化

※ 上記に加え、「その他の整備」として 183 億円を計上

第 3 章 財政計画 (本編 P16~P17)

【基本目標 3】 健全で持続可能な経営を目指します

【施策目標 3-1】 経営基盤の強化

- ◆ 財務体質の強化
 - 施設の長寿命化によるライフサイクルの最小化
 - 効率的な執行体制の構築と民間委託の推進
 - 汚泥処理の集中化とコンポスト事業の廃止
 - 企業債未償還残高の縮減
 - 適正な受益者負担のあり方の検討
- ◆ 人材の育成
 - 技術・知識を育成・共有する機会の創出
 - 民間企業・研究機関との技術交流の推進

<5 年間の事業費> (本編 P14)

建設事業費 727 億円 (前プラン比 Δ10.0%)

既存の下水道機能を維持するための改築・更新事業を最優先とし、地元要望や他事業に関連した事業、災害対策、環境対策等、優先度の高い事業を厳選した。

維持管理費 815 億円 (前プラン比 Δ 3.4%)

施設の更新費用の低廉化・平準化を見据え、施設の長寿命化のための修繕費用を大幅に増額する一方、経営の効率化を進めることで、全体額の減少基調を堅持した。

札幌市下水道事業中期経営プラン 2015 の概要

【計画期間】平成 23 年度（2011 年）～平成 27 年度（2015 年）

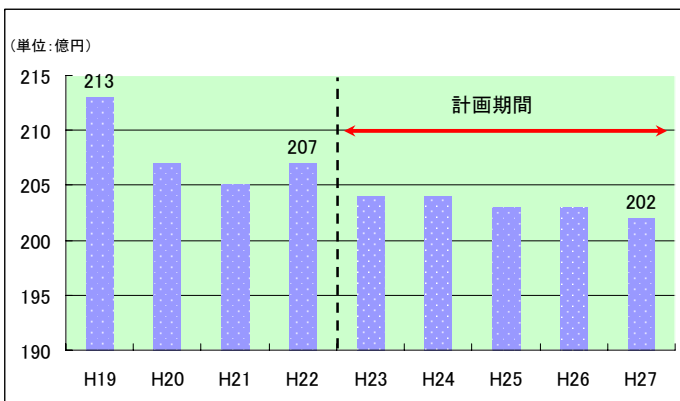
第3章 財政計画 (本編 P18~P19)

【中期財政見通し】

【主要収入項目見通し】

● 下水道使用料

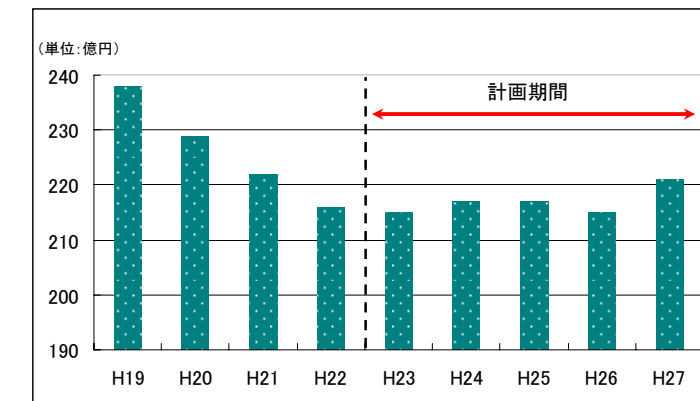
景気の低迷や人口の減少、節水意識の高まりなどの影響により、今後も減少していく見込みです。



(H22 末) (H27 末)
207 億円 → 202 億円

● 一般会計繰入金

修繕費用の増加が見込まれるものの、効率化による経費節減に努めることで、繰入額については 220 億円程度の水準で推移する見込みです。



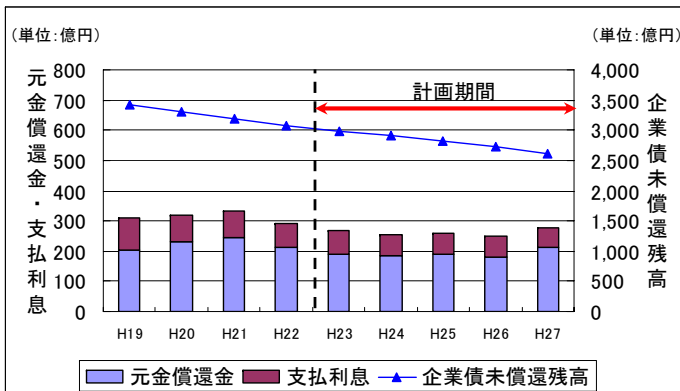
(H19~H23) (H23~H27)
1,192 億円 → 1,085 億円

※ 新行財政改革プラン (H24-H26) に整合

【債務及び資金の見通し】

● 企業債元利償還金・未償還残高

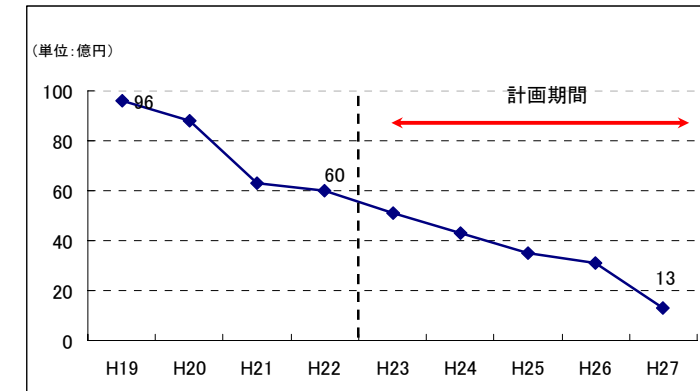
企業債新規発行額の抑制により、企業債の未償還残高は減少していく見込みですが、単年度の元利償還金は、依然として高い水準で推移する見込みです。



元利償還金 (H19~H23) (H23~H27)
1,576 億円 → 1,309 億円
未償還残高 (H22 末) (H27 末)
3,079 億円 → 2,612 億円

● 累積資金残高

経営の効率化を進めるものの、使用料収入の減少や修繕費用の増加、元利償還金が高い水準で推移すること等の影響により、資金残高は減少する見込みです。



(H22 末) (H27 末)
60 億円 → 13 億円

※ H29 に資金がマイナスとなる見込み

第4章 運営の視点 ~市民参画の推進~ (本編 P20~P21)

【視点 1】 情報共有による市民理解の促進

◆ 施設見学会の充実

- 水再生プラザ見学会、施設見学バスツアー

◆ その他広報活動の充実

- 広報誌の活用、ホームページの充実
- パネル展の開催

◆ 下水道科学館による広報活動・環境教育の推進

- 下水道科学館フェスタの開催
- 夏休み・冬休みに合わせた学習イベント
- 下水道を体感できる展示物



水再生プラザ見学会



パネル展

【視点 2】 市民参加による施策内容の充実

◆ 出前講座制度の活用

- 分かりやすい情報提供
- 対話による市民ニーズの把握

◆ その他広聴活動の充実

- 下水道科学館来館者へのアンケート調査
- パブリックコメントの活用
- ホームページを活用した意見募集

◆ 下水道モニター制度の活用

- 施設見学会、ワークショップ、アンケート調査



下水道モニター制度

第5章 進行管理 (本編 P22)

「札幌市下水道ビジョン 2020」の実現に向け、「札幌市下水道事業中期経営プラン 2015」を着実に実行するため、**施策毎に達成目標を設定し、年度毎に公表し、プランの進行管理を行います。**

札幌市下水道ビジョン 2020

P (プランの策定) 具体的な事業・事業費の整理
整備指標の設定、財政計画の提示

札幌市下水道事業中期経営プラン 2015
【2011 年~2015 年】

Do (実行)
Check (評価)
Action (見直し)

内部評価・外部意見

次期中期経営プラン【2016 年~2020 年】

【達成目標の例】 (本編 P15)

施策	指標	単位	H22末	H27末
下水道施設の維持管理	管路修繕箇所数	箇所	5,114 (H18-H22)	10,000 (H23-H27)
下水道施設の改築・再構築	汚泥処理集中化率	%	88.1	99.6
雨水対策	都市浸水対策達成率	%	86.8	87.8
地震対策	水再生プラザの耐震化率	%	57	100
合流式下水道の改善	合流式下水道対策率	%	33	70
下水道資源の有効利用	下水汚泥リサイクル率	%	100	100